



石川県内の水防機関により水防工法技術研究会を実施

「水防技術の研鑽と継承を図るために」

出水期を前に、石川県内の水防機関（約140名）の参加を得て、手取川の川北町水辺の楽校 西部拠点において、水防工法技術研究会を下記のとおり開催し、水防技術の研鑽と継承を図ります。

記

1. 目的

手取川・梯川水防連絡会では、6月からの出水期に備えて、水防活動における工法、技術の習得と継承を目的として「水防工法技術研究会」を行います。

「水防工法技術研究会」は、平成2年度から開催しており、平成21年度で18回目（平成3年度は荒天により中止、平成20年度は連合水防演習のため中止）となります。開催にあたり石川県土木部河川課の協力を得て、石川県内から23機関・約140名が参加する予定です

2. 実施内容

日時 平成21年5月28日（木） 午前10時から午後3時まで

（※ 現地取材は、13：30頃から14：30頃に実証的な水防作業を実施していますので写りがよろしいかと思えます。）

場所 川北町朝日地先 水辺の楽校西部拠点（手取川右岸 手取川大橋下流）

3. 参加機関

石川県内の23の水防関係機関、参加者約140名の予定

4. 主催

手取川・梯川水防連絡会【石川県、小松市、白山市、能美市、川北町、野々市町、北陸電力株、電源開発株、西日本旅客鉄道株、国土交通省金沢河川国道事務所】及び水防関係機関、北陸地方防災エキスパート

【問い合わせ先】

国土交通省北陸地方整備局 金沢河川国道事務所
調査第一課長 森田 賢治

TEL : 076-264-8800（代表）



平成19年度の実施状況 「月の輪工」の作業状況

参考

- ・ 水防作業とは

水害を防ぎ、また被害を少なくするため、水防団等により実施される水防活動であり、古くから洪水により河川が越水や漏水などが見られた場合に、被災の原因・川の特性、地盤の状況にそれぞれ適した工法が考えられ受け継がれています。良く用いられる工法としては、川が越水するときに使用される「積み土のう工」、堤防に漏水が見られたときに使用される「月の輪工」、堤防が削られたときに使用される「シート張り工」「木流し工」「立てかご工」などがあります。